

臨床研究「脳腫瘍におけるマイクロ RNA に関する研究」について

当科（大阪大学医学部脳神経外科）では脳腫瘍の治療法の改善などのため、下記のような研究を行っております。

1. 研究の対象

研究の対象と成るのは2011年6月15日から2014年7月9日までに大阪大学医学部脳神経外科で脳腫瘍に対し手術を受けられた患者様のうち手術時に「脳神経外科の手術および検査の生体試料の保存」に書面で同意をされた方、および、2014年7月10日以降当研究に関し書面で同意いただきました患者様です。

2. 研究目的・方法

脳腫瘍に関して、これまでに多くの遺伝子異常、蛋白異常、シグナル伝達異常がした。一方、近年(約10年ほど前)、遺伝子の発現をコントロールする新しい分子群であるマイクロ RNA が発見されました。このマイクロ RNA は腫瘍の発生や進展、悪性化にも重要であることが分かってきました。マイクロ RNA は、非常に短い RNA で、蛋白質の設計図であるメッセンジャー RNA と結合して蛋白質の生成を阻害します。マイクロ RNA は沢山の蛋白質の生成をコントロールしており、様々な疾患や生命現象との関連が研究されていますが、まだ不明な点が沢山あります。脳腫瘍においてもマイクロ RNA の異常が報告され、腫瘍の発生や悪性化との関連性が指摘されていますが、報告の数が非常に少なく、脳腫瘍におけるマイクロ RNA については殆どわかっておりません。今回の研究では脳腫瘍の組織のマイクロ RNA を解析し、診療情報と比較することで、その働きを明らかにすることを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、以下の情報を利用します。

試料：診療目的で採取された腫瘍組織の残余

情報：診療においてえられた年齢、性別、症状、血液検査データ、画像所見、病理所見、治療内容、経過など

4. 外部への試料・情報の提供

本研究は国内多施設共同研究として、個人名が特定できないようにした上で、電子的配信および郵送で研究代表施設である、神戸大学に提供します。集められた情報は多数例でまとめて分析します。

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態でを行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究代表施設：神戸大学脳神経外科

研究責任者：篠山隆司

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2

大阪大学医学部 脳神経外科 有田英之

FAX 06-6879-3659 TEL06-6879-3652

研究責任者：大阪大学医学部 脳神経外科 藤本康倫